

## HEAD LINE 2

もっと甲州市、愛！

### 地域活性化プロジェクト2018～3年3組 探究活動～

本校では、「地域活性化」をテーマに探究活動をすすめて5年が経ちました。本年度も自分たちの興味関心のもと、それにテーマを設定し課題を見出し、インタビューやアンケート調査などを行い解決策を模索し、このプロジェクトを完成させました。

「子どもの外遊び」に注目したチームは、調査結果から自然とふれあう子どもたちが減少していることを知り、五感を刺激し感性を育む遊びの提案とパンフレットの配付をしたり、「認知症」をテーマにしたチームは、認知症の理解を深めてもらうためのパンフレットの作成と配付を行いました。また、地域の観光や産業の発展のために、「塩ノ山ウォーキングマップ」や甲州ワインによる乾杯の推進・ワインの日の啓蒙活動としてポスターの作成など、それぞれが地域の課題に取り組みました。

この活動は、甲州市役所において発表の機会をいただき、報告いたしました。今後も甲州市唯一の高校として、地域に貢献できるような活動を行っていきたいと思います。



## HEAD TOPICS 3

### 仲間との絆を深めた沖縄への旅。

修学旅行委員長 2年／望月義将

3泊4日の修学旅行は、平和の大切さと沖縄の自然と文化の素晴らしさを感じる機会となりました。

沖縄は第2次世界大戦で、地上戦がおこった場所であり、その爪痕を残す壕を見学したりお話を伺ったりして、今ある平和に感謝すべきだと強く思いました。その一方で、仲間との交流もでき充実した4日間を過ごすことができました。また、沖縄でしか味わうことのできない料理も多々あり、どれも美味しく、またいつの日か訪れたいと感じました。

そして、沖縄の自然の豊かさに心も体も癒されました。この4日間で学んだことを今後の生活に生かしていきたいと思います。



校訓  
和敬 叢智 創造



EZ times 第12号  
発行：山梨県立塩山高等学校  
〒404-0047 甲州市塩山三日市場440-1  
☎ 0553-33-2542  
発行日：平成31年3月



塩山高等学校 学校通信 [イージータイムス]

# EZ times



ここが  
未来の起点

Vol. 12

2019 | MARCH

普通科と商業科を併設した総合制高校である塩山高校で、「ここが未来の起点」を目標にひたむきに頑張っている生徒たちの姿を皆さんに知ってもらいたい。そんな思いのこもった学校通信です。ぜひご覧ください。



## HEAD LINE 1

### 高校生の『声』を届けたい

「高校生議会」に参加して

3年／三枝あゆみ

私は夏休みに開催された「高校生議会」に参加してきました。この議会は、山梨県全ての高校の代表が集まり、山梨の福祉や教育、観光など様々な分野について、県知事をはじめとする県の職員の方々に日頃感じている疑問等を質問し、ご答弁いただきました。

本校は生徒数が年々減少し、本年度で廃部が決まった部活動が複数あることから、部活動について質問しました。このことに対して教育委員長より、「生徒が活動する機会を増やすとともに、教員の労働環境についても検討する」というご回答がありました。

他にも、学校のエアコンやトイレの設置など学校環境についての質問が数多くあり、これらについて「生徒が過ごしやすい環境づくりのために視察を重ね、順を追って改善していきたい」ということもお伺いすることができました。

このような場は、私たち学生の意見が今後の山梨に反映されるきっかけになると感じましたので、進学後もこのような活動に積極的に参加をしていきたいと思います。



男女共同参画フォーラムにパネリストとして参加して

2年／廣瀬 拓也

2月2日、甲州市民文化会館で、第12回 甲州市男女共同参画フォーラムが開催され、私は、シンポジウム「男性の介護から見る男女共同参画」のパネリストを務めました。

私の家には車椅子で生活する92歳の祖母がいます。シンポジウムでは、両親が協力して祖母の介護をしていることと、私も自分にできることとして、できるだけ祖母と毎日話をしたいということを話しました。当日は緊張しましたが、他のパネリストやコーディネーターの方が優しく接してくれたので、落ち着いて臨むことができました。また、会場から、孫が話しかけてくれると元気が出るという感想が出たり、若い人のエネルギーが、高齢者の生きる力になると言われたりして、とても嬉しくなりました。他のパネリストの方の、介護体験や市の支援態勢などの話もとてもためになりました。よい体験ができたと思っています。

